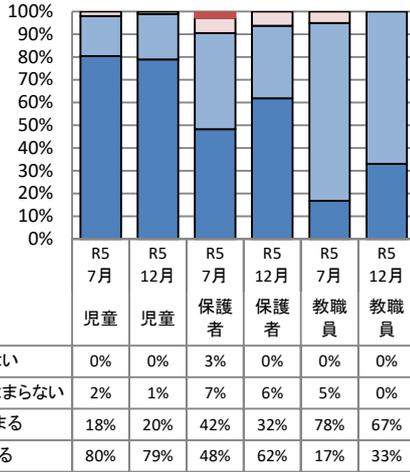


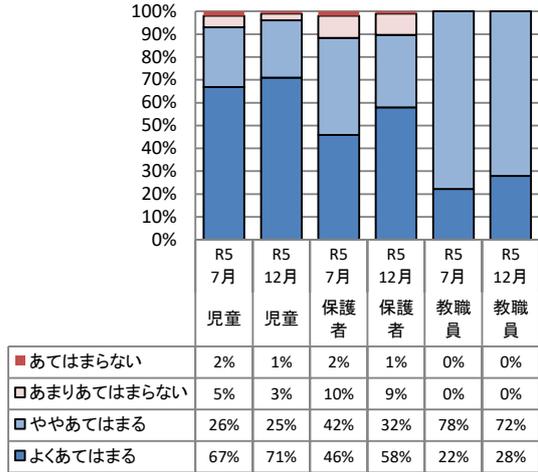
令和5年度 学校評価アンケート結果（12月）

学習に関すること

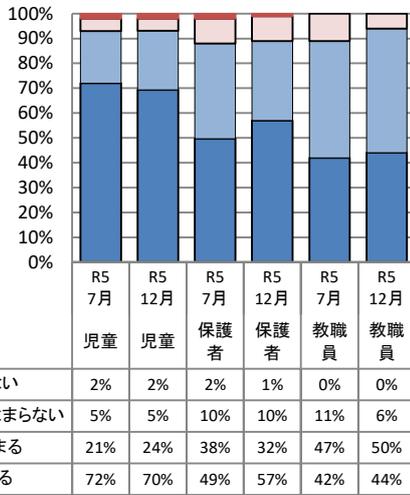
問1 先生は、基礎的な学力が身に付くよう、分かりやすい授業をしている、または子どもがそう言っている。



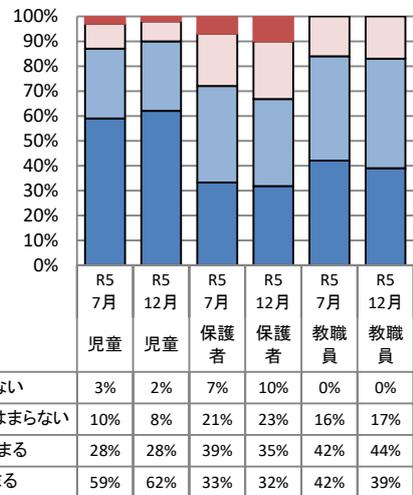
問2 先生は、子どもの興味や意欲を高める授業を工夫している、または子どもがそう言っている。



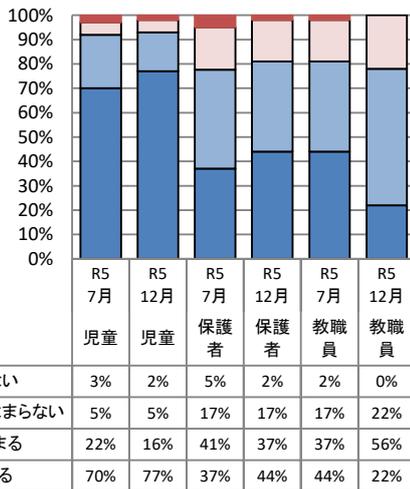
問3 先生は、子どもに応じた学習の手助けを行っている、または子どもがそう言っている。



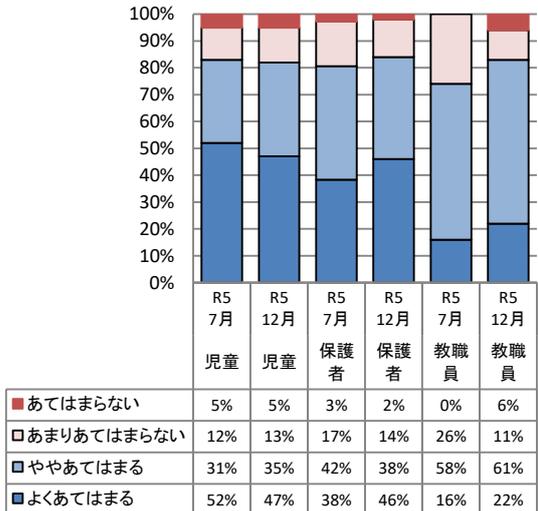
問4 子どもは学校から本を借り、進んで読書をしている。



問5 子どもは、英語に興味をもち、楽しく学習に取り組んでいる。

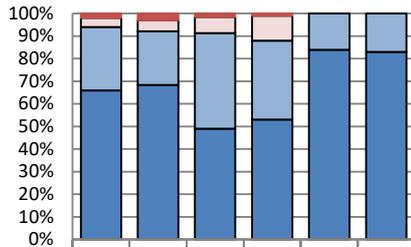


問6 子どもは、帰宅後宿題や自主的な学習をしている。



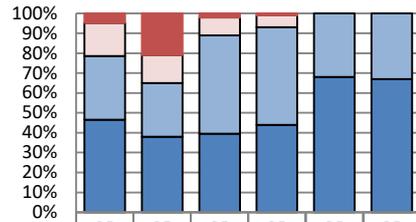
生徒指導について

問7 学校や家であいさつ運動をしていることを知っており、家でもあいさつさせている



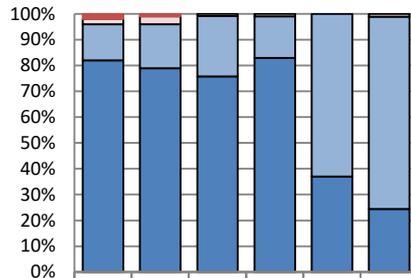
	R5 7月 児童	R5 12月 児童	R5 7月 保護者	R5 12月 保護者	R5 7月 教職員	R5 12月 教職員
■あてはまらない	2%	3%	2%	1%	0%	0%
□あまりあてはまらない	4%	5%	7%	11%	0%	0%
▣ややあてはまる	28%	24%	42%	35%	16%	17%
■よくあてはまる	66%	69%	49%	53%	84%	83%

問8 学校は、子供に命を大切にする心や、社会のルールを守る態度、郷土を理解する心を育む教育をしていると思う。



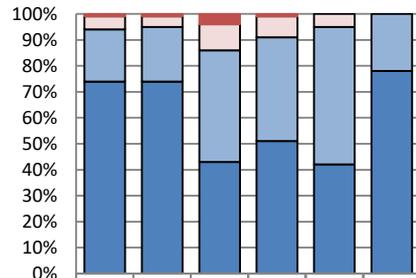
	R5 7月 児童	R5 12月 児童	R5 7月 保護者	R5 12月 保護者	R5 7月 教職員	R5 12月 教職員
■あてはまらない	4%	21%	2%	1%	0%	0%
□あまりあてはまらない	15%	14%	9%	6%	0%	0%
▣ややあてはまる	29%	27%	49%	49%	32%	33%
■よくあてはまる	42%	38%	40%	44%	68%	67%

問9 子どもはいろいろな学校行事を一生懸命行っている。



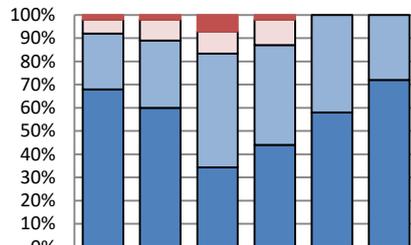
	R5 7月 児童	R5 12月 児童	R5 7月 保護者	R5 12月 保護者	R5 7月 教職員	R5 12月 教職員
■あてはまらない	2%	1%	0%	0%	0%	0%
□あまりあてはまらない	2%	3%	1%	1%	0%	1%
▣ややあてはまる	14%	17%	23%	16%	63%	67%
■よくあてはまる	82%	79%	76%	83%	37%	22%

問10 学校は、児童一人一人を理解し、大切にしていると思う。



	R5 7月 児童	R5 12月 児童	R5 7月 保護者	R5 12月 保護者	R5 7月 教職員	R5 12月 教職員
■あてはまらない	1%	1%	4%	1%	0%	0%
□あまりあてはまらない	5%	4%	10%	8%	5%	0%
▣ややあてはまる	20%	21%	43%	40%	53%	22%
■よくあてはまる	74%	74%	43%	51%	42%	78%

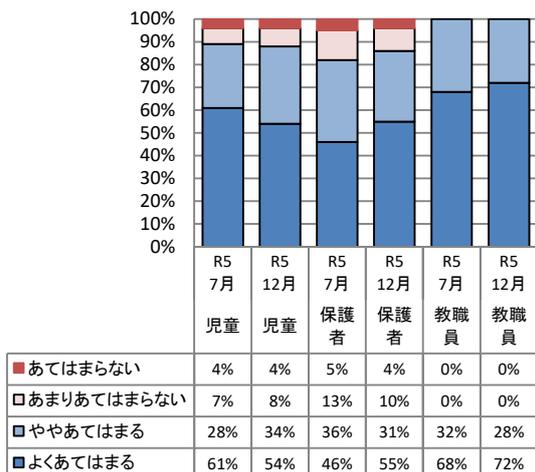
問11 学校は、いじめのない学校、学級、環境づくりに取り組んでいると思う。



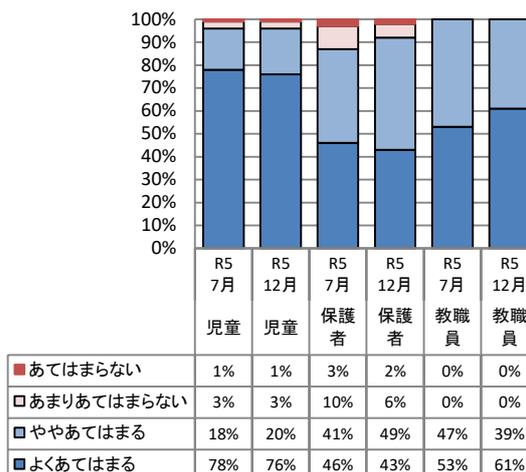
	R5 7月 児童	R5 12月 児童	R5 7月 保護者	R5 12月 保護者	R5 7月 教職員	R5 12月 教職員
■あてはまらない	2%	2%	7%	2%	0%	0%
□あまりあてはまらない	6%	9%	10%	11%	0%	0%
▣ややあてはまる	24%	29%	49%	43%	42%	28%
■よくあてはまる	68%	60%	34%	44%	58%	72%

行事・安全管理・開かれた学校について

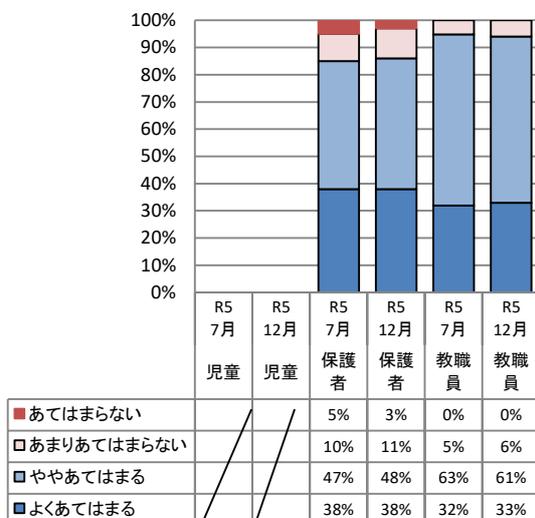
問12 学校は、個別面談や教育相談等が充実しており、先生に相談がしやすい。



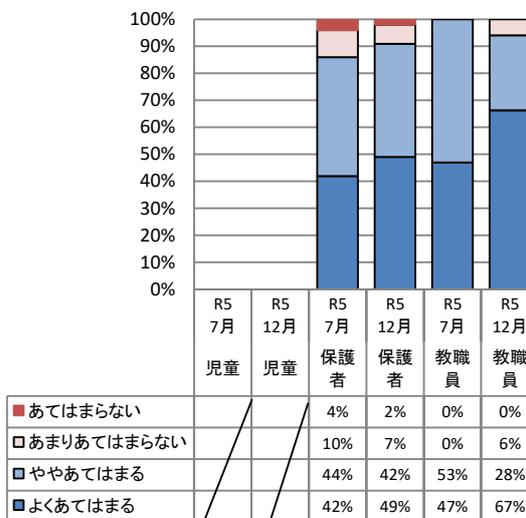
問13 学校は、子供の安全確保や健康管理のための取組を十分に行っていると思う。



問14 学校は、家庭・地域と積極的に連携・協力している。



問15 学校は、たよりやホームページ、その他の方法で情報をよく発信している。



アンケートにご協力いただきありがとうございました。

結果の考察（R5、12月）

<保護者アンケートより>

- ・ 全体的に最も評価の高かった項目は、「児童のいろいろな行事への取組」で「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した保護者の方は99.0%でした。評価の高かった要因としましては、少しずつ、学校行事や地域行事が復活し、実施できたことや、子供たちが各行事等に一生懸命取り組んでいる姿をご覧いただけたこと、そして、保護者の方々にご理解とご協力を得ることができたためと思います。特に地域の行事が数年ぶりに復活したものもあり、保護者、地域の皆様に多くの協力をいただいたこと、児童の頑張っている姿を見ていただく良い機会となったことも高評価に繋がった要因と考えられます。
- ・ 次に評価が高かった項目は、「基礎的な学力が身に付くような分かりやすい授業」で、「よくあてはまる」「あてはまる」とご回答いただいた方が94%でした。基礎基本の定着に力を注ぎ、補充学習等も適宜行っています。また、ICT機器を活用することで、今まで以上に分かりやすい授業が展開できていることや、分からないことはクロームブックを使ってすぐに調べられる環境にあることも大きな要因となっていると考えられます。また、子供たちもクロームブックの操作に慣れ、高学年ばかりでなく、低学年から授業でどんどん活用していることも高評価の要因の一つであると考えられます。
- ・ 3番目に高かった項目は「命を大切にする心、社会のルールを守るきまり、郷土のことについてへの取組」でした。「よくあてはまる」「ややあてはまる」とご回答いただいた方が12月は93%でした。7月と比較すると4%向上しました。命や社会のルール、郷土について道徳を通して今後も取り組んでいきたいと思います。また校外学習や遠足などの機会なども大切にしていきたいと思います。
- ・ 最も評価が低かった項目は、「読書活動について」です。「よくあてはまる」「ややあてはまる」とご回答いただいた方が12月は67%で、7月と比較すると、5%減少しました。児童は3%向上しております。学校では、本の貸出冊数が伸びるように、学校図書館の職員が、企画物を考案したり、クイズを作成したりするなど、読書への意欲が高まるよう努めています。学校だけでなく、ご家庭でも読書活を広げられるよう、働きかけていきたいと思います。
- ・ 次に評価が低かった項目は、「家庭での自主学習への取組」です。「よくあてはまる」「あてはまる」とご回答いただいた方が7月より1.0%下がっております。今後もドリルなど工夫しながら宿題を出していきたいと思います。ドリルなどは3回目を行う児童も見られ、宿題以外の自主的な学習も徐々に増えているようなので励ましていきたいと思います。またクロームブックを使った電子学習ドリルの「ナビマ」なども活用が増えてきているようです。担任の声かけにより、子供たちの学習意欲を向上させ、「ナビマ」の活用などを増やしていきたいと思います。ご家庭においてもご協力をよろしくお願いいたします。

- ・ 記述欄には学校の取組に対してのご理解と賞賛を多数いただきありがとうございます。しかし、一方で、クロームブックの取り扱い、行事の日程等（授業参観、面談等）について、あいさつについて、通知表の所見について、登下校について、学校の施設設備について、上履きについて等、様々なものがありました。貴重なご意見をいただきありがとうございます。上履きについては、PTA 本部や学校運営協議会等と話し合いをもち、方針を決めていきたいと思ひます。またその他の件でも今後の課題として改善に向けて学校で協議していきたいと思ひます。

<児童アンケートより>

- ・ 全体的に高評価でした。その中でも最も高かったのは「先生は分かりやすく勉強を教えてくれる」の項目で、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせ 99%で、7月と比較して2%向上しました。クロームブックやデジタル教科書、電子黒板を活用したことも要因にあげられます。今後も、児童の実態を踏まえて学習を進められるようにしていきたいと思ひます。
- ・ 次に評価が高かった項目は、「学校行事への取組」と「安全な避難の方法や安全な歩き方について」で、「よくあてはまる」「ややあはまる」を合わせ両項目が 96%でした。行事への取組は変わらず積極的であり、来年度も児童主体の活動を主眼において実施していきたいと思っております。避難訓練では、火災、地震、不審者対応、予告なし避難訓練等様々な場合を備えて行っております。今後も緊急時にどう行動するか自分で考えられるよう意識を高めていきたいと思ひます。道路の歩き方については、低学年からよく指導しておりますが、自転車の乗り方、飛び出しについて等、まだ心配な面があるので、継続して行っていきます。
- ・ 最も評価が低かった項目は、「命の大切さやきまり、郷土について」で、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した児童は、65%であり、7月と比較して6%下がっています。道徳の時間や校外学習、遠足の機会を大切にし、指導していきたいと思ひます。
- ・ 次に評価の低かった項目は、「家庭学習への取組」で、「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答した児童は 82%で、7月と比較して1%減少しました。担任はドリルや、漢字計算練習など工夫して出し、児童もドリルに複数回取り組んでいる子もおります。今後は、ナビマなども活用し、工夫して行えるよう取り組んでいきます。ご家庭でもご協力をお願いいたします。

<教職員アンケートより>

- ・ 最も評価が高かった項目は、「主体的な学習、あいさつの指導、社会のきまり、安心できる学級づくり、安全指導」でした。教職員の意識調査では、100%でした。一方で、児童のあいさつがまだできなかつたり、安全に行動できなかつたりしていることから、教員の働きかけが結果に結び付いていないので、調査結果をもとに、共通理解を図って継続的にすすめていきたいと思ひます。

- ・ 次に評価が高かった項目は、「児童一人一人を理解し、大切にしている」でした。「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答している教職員が12月は100%で、7月より5%向上しました。教職員は、常に子どもたちの様子に気を配り、安心できる学級づくりを心がけています。子どもたちの心の居場所をつくること、そして、自己存在感、共感的人間関係を育成していくことを意識して学級づくりに取り組むことを学校全体で進めております。今後も、子供たちに寄り添った指導ができるように心がけていきたいと思います。
- ・ 一方、最も評価が低かった項目は「学校行事や児童会活動等の活性化や充実を図っている」でした。「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答している教職員が89%で、11%減少しました。活性化や充実について、担当者が目立って取り組んでおりますが、全体的に見ると、関わりが十分でなかったと感じる教職員が見られました。今後は、内容を共有しながら、職員全体で取り組んでいけるようにしていきたいと思います。
- ・ 次に評価が低かった項目は、「英語活動の充実を図っている」でした。「よくあてはまる」「ややあてはまる」と回答している教職員が7月より3%減少しました。英語担当教員と、ALTが協力しながら、教材研究を熱心に行ったり、廊下の掲示物を整えるなど、環境整備に努めたりしていますが、担任として、関わりが少ないと感じる教職員が増えてしまったことが要因にあげられます。中学校へのスムーズな接続を意識して、機会を見て、興味をもてるように働きかけたり、全職員で、共通理解を図りながら、それぞれの分担で、できることを進めていったりしていきたいと思います。